



会長 武川 毅
幹事 千葉 正宏
会報 猪股 育夫
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2807回例会 2022. 2. 10 No.23

本日の出席率

・本日の出席率 71.8%

ニコニコボックス

- ・武川毅会長 本日は、ロータリーの先輩佐藤幸一会員のスピーチです。楽しみにしております。
- ・佐藤静市会員 ご無沙汰でございました。私事、昨年4月登米市民病院に検査入院した時には、ロータリークラブ小野寺伸浩会長経由にて、お見舞を頂戴いたしましてありがとうございます。お陰様で快方に向っております。今後共よろしく願いいたします。佐藤幸一会員のスピーチ、勉強させていただきます。
- ・佐藤幸一会員 久しぶりのスピーチです。面白い内容でもありませんが、お付き合いの程お願い申し上げます。
- ・江川元徳会員 ウクライナ、戦争のないように祈ります。
- ・八谷郁夫会員 佐藤幸一会員のスピーチ楽しみです。
- ・阿部泰彦会員 佐藤幸一会員のスピーチ楽しみです。ルーツは登米市、羽生結弦選手のクワッドアクセル（4回転半ジャンプ）成功を祈って！
- ・菅野幸一郎会員 佐藤幸一先輩のスピーチを楽しみにしております。
- ・高田次雄会員 立春とは名ばかり、厳しい冷え込みが続いております。ご自愛下さい。佐藤幸一会員のスピーチ勉強させて下さい。
- ・菅原文之会員 佐藤幸一会員のスピーチを心待ちに。佐藤静市会員の久しぶりの例会復帰出席を祝して。
- ・小野寺伸浩会員 台北西門RC45周年だそうです。佐藤幸一会員のスピーチに期待しております。
- ・富士原裕子会員 佐藤幸一会員のスピーチ、ご期待しています。

- ・岩渕栄市会員 佐藤静市会員、久々の出席本当に嬉しく思います。体調をしっかり整えて、また笑顔の佐藤静市会員と日常的に会える日を楽しみにしております。
- ・及川富男会員 佐藤幸一会員のスピーチに期待して。
- ・二階堂恭子会員 今日のスピーチ、佐藤幸一会員の仕事、ロータリーについてのお話し楽しみです。
- ・佐々木崇会員以下 本日のスピーチに期待して。
 佐藤敬喜会員 千葉吉男会員 佐竹孝行会員
 遠藤光則会員 猪股育夫会員 佐々木源悦会員
 岩渕正彦会員 熊谷敏明会員 高橋利光会員
 布施孝尚会員 菅原慶一会員 及川昭宏会員
 太田陽平会員 杉田広仁会員 佐藤早智子会員
 後藤和人会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 武川毅会長

最近、私たちの業界用語でスマートロック住宅システムがあります。あまり馴染みの無い言葉ではありますが、スマートフォンでドアの施錠を行ったり、リモートしたりということで、常に鍵を持たないで生活するという新しい住宅のあり方ですが、普及まではまだ時間がかかりそうです。お金の支払いもそうで、現金からカードそしてスマートフォンへと変化しています。便利な反面、場合によっては停電、電池切れなど機器の不具合で生活が大きく制約を受けるようになります。色々な状況を見ながら進めていけば良いのかなと思っています。

先週は、八谷郁夫ロータリー情報委員長のフォーラムありがとうございました。最後の「縄文人とユダヤ人の関係」の話が新鮮でした。

昨日の県内のオミクロン株の感染者も900人を超え目の前に来ているようです。出来るだけ感染に配慮して例会を続けていきたいと考えております。

幹事報告 太田陽平副幹事

- ・台北西門RCより
 創立45周年記念式典の連絡及び記念誌用の祝辞・写真の送信依頼
- ・T-LIFEパートナーズ(株)より
 2022年国際大会（ヒューストン）参加募集案内

今週のスピーチ

佐藤幸一会員

○ロータリーの履歴について

入会は昭和56年11月、約41年前です。現在の入会順では江川元徳会員と共に3番目になります。年齢別順では最年長になってしまいました。今年は満歴で8月で88歳になりますので、米寿は本年とと思っていました。歳祝いはいは数えであることを忘れておりましたのが、昨年1月例会で布施・村上両同年生と共に米寿のお祝いの品々をいただき大変恐縮をいたしましたところでした。

ご両人とも昨年亡くなられ、ポツカリと胸に穴が空いた感がしております。本年に入り1月早々鈴木彦太名誉会員がお亡くなりになり、1月29日にお別れ会があり皆さんと共にありし日を回顧してまいりました。半世紀を超える年数を在籍され、無欠席で過ごされたことは特筆されるべきことであります。

入会して間もない頃、新入会員研修に出席し先輩会員からの講義をしていただきました。講師役は佐沼病院の斉藤不二夫院長でした。そのお話の趣旨は、ロータリーは個人を主体として自己研鑽を行う場であり、ロータリーはアイサーブ、ライオンズはウィサーブで団体としての活動が主体で、ロータリーは個人個人が職業を通じて人格形成を行ってゆくところであると言われたことが今でも頭の中に残っています。

今は出席に関しては内容が改定され50%で良いことになり、ロータリーの雰囲気が大きく変化した様な感じがいたします。

最近のロータリーの友の友愛の広場の記事を見ますと、ロータリーの変貌を憂えておられる内容のものが多くなっているような気がいたします。その中で、2020年10月号「友愛の広場」で明石東RCの多胡健吾さん（外科医）の投稿された一文は、ロータリーの現状を憂える内容として年老いたロータリアンの思いは私も同感で「在籍55年に思う」の中から抜粋させていただきました。

「1964年34歳で入会56年が経ちました。入会当初は例会出席が厳しく奨励されてまいりました。ロータリーの基礎である例会において、その地域の異なる業種の選ばれた職業人が集り親睦の中にそれぞれの発想をもって意見と情報を交換し「より良いあなた、より良い私を目指す」言い換えれば、自己を向上させるいわば例会は人間形成の道場である。だからロータリーの奥は深く、また最高の魅力なのだ」と。私などはとてもそこまで到達できないでおります。

○88歳を目前にして自分を見詰めて

最近読む本は年代的に近い人達の書いた本を読むのが多くなっております。妙なことに私と同じ昭和9年生まれ作家は殆んどなく、2歳前後違う作家の本が集まっているのに気付いております。その中でも昭和7年生まれの五木寛之さんが書いた本を多く読んで

おります。これは内容が余り抵抗なく私には受け入れられる感じがしております。「余命」という本の中から抜粋させてもらい自分の思いをしたためてみました。「これからは生きるということと死に逝くということを同じ比重で大事に考えてゆく、特に後半生の人生においては、そのことが非常に大事です。いずれにせよ私たちはこの生というものが限りあるものであることも、はっきり自覚する必要があるのではないのでしょうか。限られた時間を意識することから最後の人生をスタートさせるしかないのです。残された時間は決して知ることはできない。それが短かろうが長かろうがやがて終わることだけはたしかである。そこをみつめるところからあらたな余生が始まるのだ」と。

ここからは自分の考えを述べますと、余生の中にいて何をすべきか、何を残すべきかを考えてみました。まず、築100年以上も経っている建屋は建替えることもなかろうと。あとは自分の身のまわりの整理整頓です。私たちの年代は、なかなか整理整頓が出来ず、一つの部屋がいろんな物で一杯になっている状態です。時間がかかりそうですが、少しずつ手を付けようと思っております。

役職についてはほぼ整理しましたが、自分が出資した会社の役員は少し残っております。これはいつでも止められると思っております。

遺書の相続や処分につきましては、80歳の時に生前贈与を含め遺言書を公正証書にして作成し銀行に保管してもらっています。

年賀状は本年満88歳になるのを契機に、この正月を以って終わらせていただき、長い間お付き合い下さいました方々に厚く御礼を申し上げます。

あとは死後の処理です。自分は何もできません家族や近親者に迷惑をお掛けすることになり申し訳なく思います。できるだけ少人数で簡単に済ませてもらいたいとお願ひしておきます。

まだまだ言いたいことがありますがこの辺で止めますが、これで終わりにすると何か湿っぽい感が残りますが、人生100年時代に入ったと言われる、これからの一年一年が大変だと感じております。ですから一日一日を大事にし、未知の長寿の世界を楽しみたいと思います。

スピーチの原稿を書き終わってみたら肩の荷が降りたような感じがいたしました。あとはいつ死んでも良いとの境地かも知れません。老人のたわ言と聞き流して下さいようお願ひ申し上げます。

○カーボンニュートラルについて

対策としては、温暖ガス排出ゼロのみが唯一の選択肢ではなく、回収したCO₂から原料として利用すれば、CO₂を出さなくて済むのが多くの分野で研究が進んでおります。良い地球環境があって正常な経済活動ができること認識するようになってきました。私共の石灰業界に於きましては、これまで石灰製造時のCO₂排出は許容されるものと言われてまいりましたが、ここにきて石灰製造たりとも厳しい排出規制がなされることは必須であります。我々業界上げてCO₂対策の技術開発やCO₂ガスを有効利用する研究と技術が要求されてまいりました。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。